

PRESS RELEASE

報道関係各位

ビジネスと学術分野の第一線で活躍されている3氏が 日本女子大学の新学部「経済学部(仮称)」の特別招聘教授に 経営視点と学術的な知見を生かし、実社会に役立つ経済学を学ぶ

日本女子大学（東京都文京区、学長：篠原聡子）は、2027年4月に開設を構想する「経済学部（仮称）」の特別招聘教授として、「ヴィリーナ ジャパン株式会社」代表取締役の青木愛氏、行動経済学・労働経済学の第一人者である経済学者の大竹文雄氏、「Ms.Engineer 株式会社」代表取締役 CEO のやまざきひとみ氏の3氏が就任することを発表します。青木氏とやまざき氏は本学の卒業生で、起業家としてビジネスの第一線で活躍されています。



青木愛氏



大竹文雄氏



やまざきひとみ氏

開設を構想する「経済学部（仮称）」は、1学年99人という少人数体制を生かした対話や実践を通じた学びを重視し、経済学や経営学の理論から応用、実践までを体系的に学び、幅広い専門知識を身につけます。

さらに「家族の経済学」「女性労働論」「労働法・社会保障法」など、女性の一生に寄り添い、当事者として社会に対する理解を深めることのできる科目も提供し、女子大学ならではの着眼点も大切にしながら、社会に対する鋭い感性を養っていきます。また、経済的・社会的課題の解決のためにみずから動き出すことのできるアントレプレナーシップ、データ分析力や論理的思考力、組織のマネジメント力を養い、しなやかに自身のキャリアを切り拓いていける力を育みます。

PRESS RELEASE

今回、経済分野においてビジネスおよび学術の第一線で活躍されている3氏が特別招聘教授に就任することで、経済学が現実の社会や自身の人生にどのように役立つのかを具体的に学び、自らのキャリアや選択を主体的に考え、行動する力を育成していきます。

■青木愛氏 コメント

日本女子大学経済学部の開設にあたり、特別招聘教授に任命していただき、その責任の重さに身の引き締まる思いでおります。昨年、日本では史上初の女性の総理大臣が誕生しました。そして経済の分野においても、ますます女性の活躍が期待されています。ですが、私が起業した20年前と比べ、女性の起業がメジャーになったわけでも、働き方が大きく変わったわけでもありません。私自身、4人の子どもの育児と会社経営の狭間で、表向きの華やかさとは裏腹に、数字と戦ってきた側面もあります。その「成功」だけではない、仕事・子育て・経済・起業のリアルを学生の皆さんとシェアさせていただき、私の経験が少しでも社会に出る前の皆さんの一助になればと願っております。

■大竹文雄氏 コメント

日本女子大学に開設される経済学部の特別招聘教授に就任できることを、大変光栄に存じます。著書『経済学者のアタマの中』では「社会をよりよくしたい人は、ぜひ経済学部へ」と呼びかけました。経済学はお金も扱いますが、データと理論で社会の仕組みを解き明かし、人々の幸せを支える制度や政策を設計する実践的な学問です。少人数でとことん考え、答えを出す学びの中で、学生の皆さんが複雑な社会課題に論理的かつしなやかにアプローチできる力を養う一助となれば幸いです。経済学の知見を手にした女性が社会を動かす未来を、皆さんと共に切り拓けることを楽しみにしています。

■やまざきひとみ氏 コメント

日本女子大学経済学部の開設おめでとうございます。母校である日本女子大学の経済学部特別招聘教授として貢献できることを心より光栄に思います。女性の労働参加率が高まる今、女性が経済を深く学び、経済活動の中心で活躍することがますます重要となっています。私は起業家として、女性の経済的自立やジェンダー格差解消に取り組んでおりますが、その根底には在学時代に培った創業者成瀬仁蔵先生の教育理念である三綱領「信念徹底・自発創生・共同奉仕」の教えがあります。次世代を担う学生の皆さんが自信を持ち、経済活動の最前線でリーダーシップを発揮できるよう、全力でサポートしてまいります。

PRESS RELEASE

■青木愛氏 プロフィール



ヴィリーナ ジャパン株式会社代表取締役。1996年、日本女子大学文学部日本文学科卒業。現・株式会社ハースト婦人画報社にて、『30ans』『Vingtaine』『25ans』のファッション編集者として従事。その後、ニューヨークのアッシュト・フィリパッキ・メディアにて『ELLE Girl』編集部に出向。帰国後は『ELLE Japon』の制作に携わる。ニューヨークでの出産を経験したことをきっかけに、ママになってからも女性の活躍を応援したいと、機能性とファッションに特化したブランド「ヴィリーナ」を起業。雑誌、テレビ、セミナー、SNS 等、幅広い分野で情報発信を行っている。2026年で20期を迎える。

■大竹文雄氏 プロフィール



大阪大学特任教授。博士（経済学）。専門は行動経済学、労働経済学。日本経済学会・行動経済学会会長、政府新型コロナ対策分科会委員等を歴任。NHK『オイコノミア』で又吉直樹氏と共に経済学の普及にも尽力。著書に『日本の不平等』『行動経済学の使い方』『経済学者のアタマの中』『経済学Basics』。日本学士院賞、サントリー学芸賞、石川賞、エコノミスト賞等受賞多数。データや行動経済学の知見を用い、社会課題の解決に取り組む。

■やまざきひとみ氏 プロフィール



Ms.Engineer 株式会社 代表取締役 CEO。2007年、日本女子大学人間社会学部文化学科（現在の国際文化学部国際文化学科）卒業。サイバーエージェントにてプロデューサー／編集長として「アメーバピグ」立ち上げなどに携わり、2015年に独立。2016年にPR・マーケティング会社アタラシイヒを設立し、2021年、女性のAI・デジタル人材を育成するオンラインブートキャンプ「Ms.Engineer」を創設。未経験から約半年で高度ITスキルの習得を可能にし、卒業生の9割以上が転職を実現。平均年収は約480万～484万円に向上し、日本女性の平均と比較して約170万円高い水準にまで上昇。性別による賃金格差の解消と、女性の経済的自立の実現を目指している。

PRESS RELEASE

■日本女子大学学長 篠原聡子より

この度、経済学部（仮称）に特別招聘教授3名をお迎えいたします。

青木愛氏は、ファッション誌編集者としてキャリアを積み、ニューヨークでのご経験を経て起業されました。同社は販売にとどまらず、女性のライフステージに寄り添う新しい価値を創造し続けています。起業家としての手腕とファッション業界での豊富な知見は、eコマースやブランド構築、そして社会貢献を意識したビジネスモデルについて、学生たちに実践的な学びを提供してくれることでしょう。

大竹文雄氏は、行動経済学、労働経済学といった多岐にわたる分野において、日本を代表する経済学者として活躍されています。また、政府の委員も歴任され、社会課題の解決に向けた具体的な政策立案に大きな影響を与えてこられました。社会の第一線で多角的な活動をされている大竹氏の講義は、学生が自らの進路を切り拓く上での大きな指針となると確信しております。

やまざきひとみ氏は、日本のインターネット業界、とくに女性向けサービスやコミュニティ形成の分野において、実績を築いてこられました。独立後は、培った知見を生かし、IT業界のジェンダーギャップ解消に向けて尽力されています。豊かな経験と高い志に基づく講義は、ビジネスの成功のみならず、次代における社会貢献の重要性をも提示する、極めて示唆に富むものとなるはずです。

■今後の予定

3月28日（土）に開催する「経済学部（仮称・構想中）ミニオープンキャンパス」内にて、青木愛氏による起業をテーマにした高校生向けのワークショップを予定しています。女性起業家である青木氏とともに、日常の困りごとから新しい価値を見つけビジネスの形にする起業の考え方を学びながら、「経済学」の学びが社会での価値創造に直結することを体感できるプログラムです。

日時：3月28日（土）14：20～15：35（14:10集合）

会場：日本女子大学 目白キャンパス 経済学部（仮称・構想中）ミニオープンキャンパス内

参加対象：本学受験希望の方とその保護者（30組）

申し込み方法：参加をご希望される方は以下のURLよりお申込みください

<https://www.ocans.jp/jwu?fid=VMK1hYHW>（3月6日（金）17:00～受付開始）

※定員になり次第締め切らせていただきます

※本学受験希望者お1人での参加も可能です

その他の今後の活動内容につきましては、詳細が決まり次第、本学ホームページで公表いたします。

PRESS RELEASE

■日本女子大学 経済学部（仮称）の科目の特徴

「経済領域」「経営・起業領域」「生活・公共領域」の3つの領域を複合的に学ぶことで、経済を体系的かつ実践的に理解する力を身につけます。さらに、学問を通じて論理的思考力やデータ分析力を養い、女子大学ならではの着眼点も大切にしながら、社会に対する鋭い感性を養っていきます。「経済学」の基礎を理解した上で、金融・政策・国際といった応用、「経営・起業」に関わる会計・マーケティング・経営戦略、「生活、公共性」に関する家計と社会保障までの専門知識や統計的手法を活用しながら、さまざまな経済的・社会的課題を論理的かつ批判的に分析する能力の修得を目指します。

【参照リンク】

「経済学部紹介ページ」

<https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/economics/index.html>

上記記載内容は予定であり、変更の可能性があります。

日本女子大学は、日本初の組織的な女子高等教育機関として創立し、2021年に120周年を迎えました。私立女子大学唯一の理学部を有し、文理融合の教育環境をもつ女子総合大学です。「私が動く、世界がひらく。」のタグラインのもと、自ら学び、自ら行動し、新しい価値を創造できる人材を育てています。昨年度は「建築デザイン学部」を開設し、今年度には「食科学部」を開設しました。さらに2026年度に文学部2学科の名称変更を予定し、2027年度には「経済学部（仮称）」の開設（構想中）、2028年度には「ファッションデザイン学部（仮称）」および「人間科学部（仮称）」の開設（構想中）と、継続して大学改革を進めていきます。詳しくは、<https://www.jwu.ac.jp>をご覧ください。



学校法人 | 日本女子大学 法人企画部 広報課

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 <https://www.jwu.ac.jp/>

Phone. 03-5981-3163 e-mail. n-pr@atlas.jwu.ac.jp

Facebook. @Official.JWU Instagram. @japan_womens_university X. @JWU_official